

第3回 取り組みを考える…目標の実現に向けたプロジェクト

関心のある目標別にノミネートしてグループに分けられました。

目標の実現に向けて取り組むことは何か、日頃考えているアイデアや現在行っていることをカードに記入し、グループ内で取り組みのアイデアを伝え合いながら、同じような考え方の取り組みをまとめて「〇〇プロジェクト」というフレーズでタイトルをつけました。



『クリーンで美しいまち』を目指して、

- リーダーづくりプロジェクト●
- クリーン大作戦●
- ごみゼロ大作戦●
- 花づくりプロジェクト●
- ごみ循環大作戦●

『若者が働き根つき、人が集まるにぎわいのあるまち』を目指して、

- 若者雇用大作戦●
- 観光宣伝プロジェクト●
- 子づくり大作戦●
- すんでみたいまちづくり●
- 元気な商店街●



『魅力ある農産物で農業が元気なまち』を目指して、

- 後継者育成プロジェクト●
- PR大作戦●
- 新開発プロジェクト●
- グリーンツーリズム●
- 新しい売り物プロジェクト●

『安心して年を重ねられる生き活きと元気なまち』を目指して、

- 声かけ、心かけプロジェクト●
- お年寄り活躍プロジェクト●
- 病気心配いらずプロジェクト●
- 若返りプロジェクト●



『心豊かな子どもが育ち輝くまち』を目指して、

- かざっ子0作戦●
- 市長さん！お願い●
- お父さんかっこいい大作戦●
- 寺子屋大作戦●
- 親育て大作戦●
- パトロール大作戦●

『便利で安全に楽しく暮らせるまち』を目指して、

- マイカー不要プロジェクト●
- 八代大安全プロジェクト●
- 情報充実プロジェクト●
- 快適生活空間プロジェクト●



地域別ワークショップニュース



合併後、新たな八代市としてスタートするため、保健福祉、教育文化、観光や産業の活性化など、全ての分野にわたる八代市の今後のまちづくり全体の基本的な指針となる「総合計画」の策定にあたって、市民生活の実感から考えられた意見を反映していくことを目的にワークショップを開催しました。

今回、3回のワークショップの結果の概要をまとめ、皆さんにお知らせしたいと思います。

地域別ワークショップの構成

第1回

「現状を知る」9月5日（火）

- ワークショップの開催趣旨
- 地域の通知表づくり

第2回

「想いを語る」9月26日（火）

- 地域の重点課題
- まちづくりの目標

第3回

「取り組みを考える」10月17日（火）

- 目標の実現に向けた取り組み



お問合せ先

八代市企画調整課

電話：33-4111 FAX：32-8944

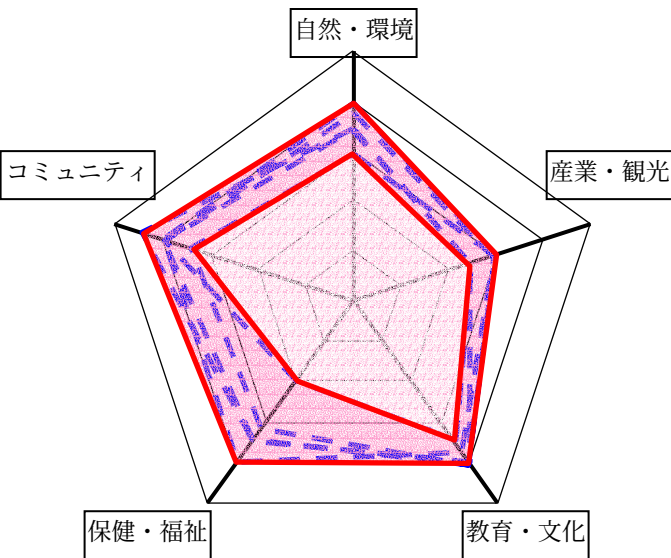
地域別ワークショップや総合計画の検討経過は、ホームページでもお知らせしています。
また、市政に関する意見や提案なども募集していますので、どうぞご覧下さい。

URL：http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/

第1回 現状を知る…地域の通知表づくり

地域の魅力や問題点を知り合うことを目的に、「自然・環境」「産業」「教育・文化」「医療・福祉」「コミュニティ」の5項目を5段階評価しました。

その点数になった理由を「良い点」と「悪い点」で書き分けながら、地域の状況について情報を交換し、改めて地域のことに気づかされました。



- 全体としてどの項目も評価は高いが、「保健・福祉」で大きく評価が分かれている。
- 「自然・環境」は、海や川の自然は豊かであるが、ごみの不法投棄、まとまった緑や大きな公園がない事が指摘されている。
- 「観光・産業」は、農業を基幹産業に商業・工業がそろってはいるものの、それぞれの産業の低迷が懸念されている。
- 「教育・文化」は、学校、文化センターをはじめとする施設が充実し、評価は高い。
- 「保健・福祉」は、施設は充実しているが、サービスのさらなる充実が望まれている。
- 「コミュニティ」は、地域のつながりの希薄化が懸念されているが、青年団や老人会をはじめ地域活動が活発である。



第2回 想いを語る…地域の重点課題とまちづくりの目標

あらかじめ設定した26個の課題から地域の重要な課題3つを選び出し、その理由と共にカードに記入、順番をつけました。個人個人で選んだ3つの重要な課題をグループ内で伝え合い、同じ様な考え方のカードをまとめました。

まとめられた課題をみながら、まちづくりの目標になるようにタイトルづけを行いました。

課題	鏡
1.川や海のきれいな水辺の自然環境を守り育てるべきだ	7
2.森林などの豊かな緑の自然環境を守り育てるべきだ	0
3.公害の抑制、ごみの減量化など、地球環境に配慮した循環型の社会を形成すべきだ	6
4.農産物のブランド化やツーリズム、地産地消などにより農林水産業を活性化すべきだ	23
5.担い手の育成をはじめ、農林水産業の経営基盤の強化と生産基盤の整備を進めるべきだ	5
6.新幹線や高速道路など、広域交通網を活かした九州の物流拠点を形成すべきだ	0
7.新技術や生産技術の向上により工業を活性化すべきだ	0
8.企業誘致や地場産業の振興などにより雇用の場を創出すべきだ	20
9.魅力と賑わいのある中心市街地、商店街づくりを進めるべきだ	9
10.多様で豊かな自然・歴史・文化資源を活かし、魅力ある観光振興を進めるべきだ	4
11.道路の整備やバスや鉄道などの公共交通の利便性を高めるべきだ	9
12.家庭、地域、学校が一体となって、子どもたちの豊かな心を育て教育を進めるべきだ	10
13.子どもから高齢者まで誰もが気軽に生涯学習やスポーツを行う場や機会を充実すべきだ	0
14.歴史や文化を大切に守り受け継ぎ、活用すべきだ	0
15.子育てと仕事の両立を支えるなど、安心して子育てできる環境を整えるべきだ	7
16.食育、スポーツなどを通じて、誰もが健康で長生きできる社会づくりを進めるべきだ	9
17.地域の特性やニーズに応じた医療体制を作り上げていくべきだ	6
18.高齢社会に対応した支援の仕組みを作り上げるべきだ	6
19.障害などに関係なく、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを進めるべきだ	2
20.安全で快適に暮らせるように、道路や公園、下水道などの生活基盤を整備すべきだ	7
21.地震や水害をはじめ、がけ崩れなどの災害に強いまちづくりを進めるべきだ	2
22.安全で安心して暮らせるよう地域と行政が一体となって防犯や防災に取り組むべきだ	1
23.ボランティアやNPOの活動を活性化させ、よりよい生活環境づくりを進めるべきだ	2
24.地域の連携と交流を活性化させ、住民主体の地域づくりを進めるべきだ	4
25.行政の取り組みにもっと市民の声（意見や提案）、市民の参加（活動）を取り入れるべきだ	2
26.行政サービスや情報提供など、便利な情報化社会を作り上げるべきだ	1
27.その他	3

まちづくりの目標
『クリーンで美しいまち』
『若者が働き根付き
人が集まるにぎわいのあるまち』
『魅力ある農産物で農業が元気なまち』
『安心して年を重ねられる
生き活きと元気なまち』
『心豊かな子どもが育ち輝くまち』
『便利で安全に楽しく暮らせるまち』

